

特集 令和6年度 教育委員会の予算

世田谷区の令和6年度一般会計教育費予算額（教育委員会所管分）は、前年度より52億2,448万4千円増（前年度比16.5%増）の368億8,909万6千円となりました。

令和6年度を初年度とする世田谷区教育振興基本計画（令和6年度～10年度）の教育目標「幸せな未来をデザインし、創造するせたがやの教育」と4つの基本方針「新しい知を創造する」、「地球の一員として行動する」、「多様性を受け入れ自分らしく生きる」、「共に学び成長し続ける」のもと、実施計画（行動計画）に掲げる取組みを着実に推進していきます。今号では教育委員会の予算の主な項目をお知らせします。

教育費予算（教育委員会所管分）が区の一般会計を占める割合は約**9.9%**
（前年度比1.2%増）



主要事業 「多様な学びの場や居場所の充実」

予算額 1億7,483万3千円

令和6年3月に策定した「不登校支援ガイドライン」に基づき、不登校の未然防止、早期発見・対応、長期化した場合の支援などの取組みを実施します。

ほっとルーム（別室登校）

2,390万3千円

学校に登校しているものの様々な事情から教室に入れず、保健室などの別室を居場所としている児童・生徒への支援を目的として、令和7年度の全区立小・中学校への設置に向け、受入れスペースの確保に係る環境整備を進めていきます。令和6年度はこれまで設置していた15校から60校へ拡大します。



学びの多様化学校（不登校特例校）分教室「ねいろ」

4,526万1千円

令和4年4月に世田谷中学校の分教室として学びの多様化学校（不登校特例校）分教室「ねいろ」を開設しました。学びや学校生活への意欲が高まってきた子どもたちのための正規の教職員がいる学校です。基礎的な学習を行うほか、一人ひとりのチャレンジ意欲や個性を伸ばす教育活動を行っています。令和6年度から指導體制の充実に向け、区独自採用の教員（会計年度任用職員）を配置します。また、令和7年1月から学びの多様化学校分教室「ねいろ」における給食提供を開始します。



ほっとルームせたがYah!オンライン

866万7千円

令和5年度より、不登校及び不登校傾向のある児童・生徒を対象に、タブレット型情報端末等を利用したオンラインによる支援を実施しています。令和6年度から新たにメタバース環境を導入し、アバターを活用して、より気軽に参加しやすい環境を整備することで、支援の拡充を図ります。



ほっとスクールの運営等

9,700万円

教育委員会が取り組むその他の主な施策

「学校の設備・改築等」

129億6,542万1千円

- 改築工事（池之上小学校）
- 一部改築工事（瀬田小学校・八幡中学校）
- 改築工事に伴う基本設計、実施設計（砧小学校・弦巻中学校・奥沢中学校）
- 学級増等に伴う改修
- 普通教室等エアコン更新



など

「教員の働き方改革」

10億5,942万3千円

- 学校教育の質の維持・向上に向けた（仮称）学校における働き方改革アクションプランの策定
- 部活動の地域移行に向けた取組み
部活動地域移行トライアル事業の拡充
部活動支援員の謝礼増額

「小・中学生の国際交流」

5,090万2千円

- 「日本でできる国内留学プログラム」
対象学年の拡充

令和5年度：小学校5・6年生
中学校2・3年生
計140人

令和6年度：小学校5・6年生
中学校1・2・3年生
計160人

- 小・中学生姉妹都市交流事業
（バンバリー市、ウィーン市ドゥブリング区、ウィニペグ市）



「DX推進方針等に基づく主な取組み」

13億2,140万5千円

- 統合型校務支援システムの利便性の向上による子どもと向き合う時間の拡充
（中学校へのデジタル採点システムの導入、感染症システムとの連携 など）



「教育総合センターの運営」

1億2,924万8千円

- STEAM講座を各学校において総合的な学習の時間等にて実施
（小学校8校、中学校4校）
- 青少年交流センターにおけるSTEAM教育出前講座の実施
（実施場所 3施設）
- 令和6年4月から日曜開館の実施
（開館エリア えがいの森、屋外広場、研修室）

「学校給食費等保護者負担の軽減」

33億1,545万6千円



「教育相談・特別支援教育の推進」

8億4,857万6千円

「みどりのまちづくり」 （幼稚園・小学校・中学校の緑化）

5,222万3千円